



未来にわたり住み続けたいまちをつくる

多世代包摂型コミュニティスペース整備へ クラウドファンディングを実施

「つながる・つつみこむ・出会う」空間

コミュニティ再生「インクルーシブ・コミュニティプロジェクト(座長:志水宏吉・阪大大学院教授)」の6月発足を受けて、「教育コミュニティ」「コミュニティスペース」の2つのワーキンググループの活動がスタートしました。

この間、新型コロナ禍の中、オンライン ZOOM による会議や学習会、先進地区視察等も行いながら、WAKWAK では長期的なコミュニティ再生事業を構想、多セクターとの協働により「未来にわたり住み続けたいまち」を創り始めています。

まずは、高槻富田地区に多様な人が「つながる・つつみこむ・出会う」空間づくりとして「コミュニティスペース」を整備します。

コミュニティスペースは富田地区内の民家を改装し、来年4月1日開設予定。そのための改装費用の一部を最終目標額200万円を目標にネット上でご寄付を募る「クラウドファンディング」を実施します。もちろん、直接ご持参・振込等も受け付けます。

富田地域が長年培ってきた包摂の文化を基盤としながら、「ひとりぼっちのいないまち(社会的包摂のまち)」づくりへ皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

まちに住む子ども、大学生、子育て世帯、高齢者、障がい者、海外にルーツの人… 多様な人が「つながる・つつみこむ・出会う」空間を高槻富田地区に創る

「誰も取り残さない」まちの仕組みづくり

取り組みは中学生の声から始まった



「夜に親とのけんかななどで家にいたくない時でも温かく受け止めてくれる場所・町の居場所づくりを提案します。」

「どんなにしんどくても、安心して自分の思いを打ち明けられるような居場所があり、笑顔になることが出来ればしんどいことも乗り越えていく力が湧いてくると思います。つながりの輪が広がっていけばひとりぼっちは減っていくと思います。」

2年前、第四中学校との協働で始まったレインボープロジェクト「まちに笑顔とつながりで虹をかけよう」での子どもたちの声です。

「あの時の子どもたちの声をどうしても実現したい。そんな思いでこの取り組みは始まりました。」

大阪府北部地震と新型コロナ禍による居場所の停止

2018年6月、高槻市を震源とした大阪府北部地震、そして新型コロナ感染拡大により公的施設をお借りして毎週行ってきた「学習支援教室わんぴーす」や「富田ただいま子ども食堂」等は公的施設使用停止により一時中止を余儀なくされました。

「最も支援が必要とされる時に必要な支援が届けられない」。突き動かされるようにオンラインによる学習支援や子ども食堂をフードパントリーという形態に変え支援が続けられました。

「どんな状況下においても柔軟に対応できる居場所があれば」。それが私たちの願いです。



最終目標額は 200 万円

○クラウドファンディングを利用される場合

期 間 12月25日～2月27日

寄付方法 クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」HP から

※「クラウドファンディング」とは、インターネットを通じて資金を調達する」仕組のこと。

○事務所への直接のご持参も可能です。

○振込を希望される場合

お振込先 ゆうちょ銀行
口座記号 00990-6
口座番号 201524
加入者名 タウンスペース WAKWAK

*手数料は自己負担となります。

—ご寄付いただいたみなさまには、心温まるオリジナルの返礼品をご用意させていただいています。詳細は同封ご案内チラシをご覧ください。—

●多世代包摂型コミュニティスペース 案 →地域資源を活かしたまちの顔

つながる

地域住民を中心としたボランティアなどが多様な事業を行い、子ども・子育て層・障がい者・高齢者など多様な人が交流、つながれる場

つつみこむ

子ども食堂などの居場所づくりや高齢者の見守り事業などを行うことで包摂される場

出会う

講座や文化活動を通じて社会課題や多文化など新しいことに出会い、学べる場



改装を行うコミュニティスペースの外観

(スケジュール)

2020年12月中旬 改装スタート

→1月 子どもたち&大学生と看板作成
ワークショップ

→2月末 改装工事終了

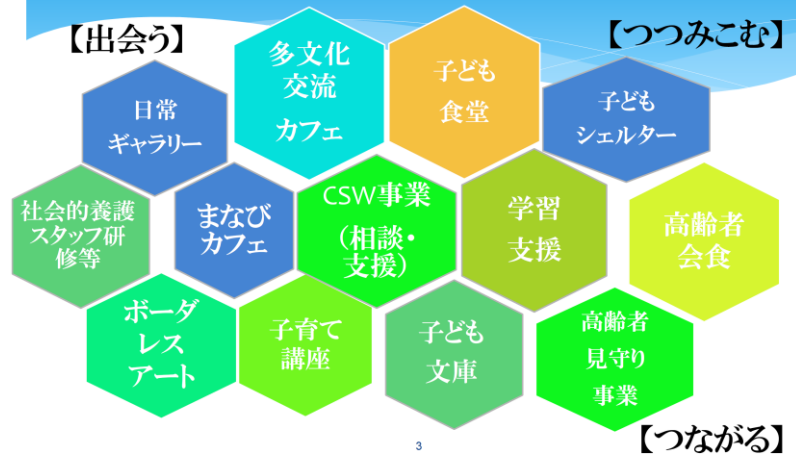
→3月 家具等の購入と運び入れ

→3月末 プレオープン(内覧会)

→4月 本格オープン

※コロナの影響により変更の可能性あり。

●多世代包摂型コミュニティスペース (案) - ソフト面 -



ゴールは4段階
最終目標は200万円

第1段階
50万円

スペース
改装費

第2段階
100万円

環境づくり①
(空調等)

第3段階
150万円

環境づくり②
(机・いす等の環境)

第4段階
200万円

事務スペース
の整備

※ご支援いただいた額に応じて民家の改装を実施します。ぜひご支援ください。

01 「未来にわたり住み続けたいまち」 まちづくり学習会を開催しました

高槻市では今年度から2か年で「富田まちづくりコンセプト」「公共施設の再配置」「小中教育一貫校」を柱とする「富田まちづくり基本構想」を策定中です。

市営富田富寿栄住宅建替事業とあわせ、これからの富田のまちづくりについて11月19日(木)午後6時半から「策定業務」を受託している(株)類設計室さんを招き学習会を開催しました。



「富田まちづくり基本構想」との連動



学習会は富田ふれあい文化センター大ホールを会場にオンラインではなく感染対策のうえ出席者を50名に限定しての開催。

プロジェクト座長の阪大大学院・志水宏吉教授の挨拶を受けて、岡井すみよ副代表理事から市営富田富寿栄住宅建替事業とあわせて「富田地区まちづくり基本構想(高槻市)」策定について現状報告。

引き続き、今年度から2年間にわたり「富田地区まちづくり基本構想策定業務」を受託している(株)類設計室さんから「子どもたちが主役となった施設づくり事例」についてプレゼン紹介していただきました。

学習会には、まちづくりに関わる地域の主だった団体の代表の方、校区に関わる教育関係者、阪大・関西大・平安女学院大の関係者等もご参加いただき深い学びのある学習会となりました。

02 第2回視察学習会は 箕面市「とどろみの森 学園」小中一貫校へ

「とどろみの森学園」は箕面市立止々呂美小・中学校を統合して2008年に箕面市初めての小中教育一貫校として箕面森町に開設。

建物は本館・西館・北館と配置され、廊下も広く教室との境がないオープン形式、中庭を囲んで2Fはデッキでつながっていて開放的でした。小中の縦割りの良さを生かしているのが特徴です。「大阪府で小中一貫校と言えば」とどろみの森学園といわれるようになります」が学校経営のスローガン。

高槻市の富田まちづくり基本構想でも公共施設の再配置とあわせこれまでの連携型から施設一体型小中教育一貫校をめざしています。実際に先行施設を見ることで小中一貫校のイメージがより具体化することができました。



03 「コミュニティ再生プロジェクト」 第2回(中間報告会)を開催

大阪北部地震をうけて市営富寿栄住宅建替えからコミュニティ再生をめざす WAKWAK のプロジェクト。6月12日に大阪大学大学院人間科学研究科・志水宏吉教授を座長にプロジェクトがスタート、10月29日(木)午後6時半から中間報告を兼ね第2回プロジェクト会議をオンライン(ZOOM)で開催しました。

2つのワーキンググループが始動

プロジェクトは「教育コミュニティ」「コミュニティスペース創出」の二つのワーキンググループで構成され、プロジェクト座長の志水先生はじめワーキンググループ座長の高田一宏教授(阪大大学院)、森本志磨子弁護士(NPO 法人子どもセンターぬつく理事長)らも出席。

連携先である大阪大学人間科学研究科のみなさん、第四中・富田小・赤大路小等教育関係者、地域関係団体のみなさんに加え、オブザーバーとして事業助成先の阪急阪神ホールディングス(株)



(社福)大阪ボランティア協会、まちづくりコンサル会社等39名のみなさんらにもご参加いただきました。

会議では6月スタート以降の取り組み報告と今後のスケジュールについて岡本工介事務局長の提案、各学校および箕面市北芝地区視察の報告を全員で共有しました。

全体会議終了後、コミュニティスペース・ワーキンググループを引き続きオンライン開催。コミュニティスペース創出のためのクラウドファンディング実施に向けてスケジュールや内容等を検討しました。

04 今年度のボーダレスアート展はオンライン開催

例年12月に開催のボーダレスアート展は同時開催のフェスタ・ヒューマンライツがオンライン開催になったのにあわせ、YouTube 動画配信によるオンライン開催となりました。

初めての試みになりましたが、より多くの皆さんにボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」受講生の作品に触れていただく機会となりました。ありがとうございました。

2月11日(木・祭)～14日(日)には高槻市が主催する初めての取り組みとなる障がいのある人たちのアート展が安満遺跡公園で開催され受講生2名の作品出展が予定されています。



05 法人中間決算等について 第2回理事会を開催



10月27日(火)運営スタッフ会議終了後、2020年度第2回理事会を開催しました。

理事会には理事・監事10名中、書面出席2名を含む10名全員が出席。「2020年度上半期事業報告」「2020年度上半期会計決算」「2020年度下半期事業計画」のいずれも全員賛成で承認議決。

「コミュニティスペース創出事業」「教育コミュニティ事業」等「今後の富田のまちづくりビジョン」についても熱心に意見を交わしあいました。

06 新型コロナ禍「緊急支援プロジェクト」は継続中

4月からの上半期は新型コロナ禍による相次ぐ事業中止の一方で、新型コロナ禍緊急支援プロジェクトを中心に様々な工夫で事業を実施してきました。

財政的にも講師派遣・視察受入れが困難になり、国の持続化給付金申請や民間助成金による新型コロナ緊急支援枠助成金等の申請によって何とか財政確保をしてきました。

学習支援事業はオンラインと対面、子ども食堂は個別弁当配布に加えフードドライブ、丸大食品(株)さん等による食材提供もあわせて継続実施できています。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



07 多セクターとの共創の活動に対し 大阪大学大学院「独創的教育研究活動賞」を受賞

多セクターとの共創による「コミュニティ再生事業」の取り組みが大阪大学国際共創大学院による「独創的教育研究活動賞」(「多セクターとの共創による新たな多文化コミュニティづくりによる共創知の生成-大阪府高槻市富田地区を対象とした実践と研究の往還による試み-」)を受賞しました。

今後、ここで得られるノウハウや知見を論文(書籍)を通じて発信し、他地域の課題解決の一助にも活かします。



(編集後記)

いよいよコミュニティスペース開設にむけ動き出しました。まずは、クラウドファンディングの成功にむけ、皆様の物心両面にわたる引き続きのご支援をお願い致します。